

13:30 招待講演

「医食ゲルの3Dプリンティング」

山形大学 大学院理工学研究科 宮 瑾氏

14:10 研究講演

「含フッ素共重合体の表面濃縮を利用した  
ゴム材料の改質」

兵庫県立工業技術センター 材料・分析技術部 本田 幸司

14:40 研究講演

「凹凸型ゲル微粒子の特性と応用展開」

(地独)大阪府立産業技術総合研究所 化学環境科 木本 正樹

15:10 — 休憩 —

15:20 招待講演

「動的架橋を利用した  
多彩な応答性ソフトマテリアルの設計とその応用」

関西大学 化学生命工学部 化学・物質工学科 宮田 隆志氏

16:00 研究講演

「イオンゲルアクチュエータの研究開発」

(独)産業技術総合研究所 健康工学研究部門

人工細胞研究グループ 安積 欣志

16:30 研究講演

「液晶性を活用したプリントエレクトロニクス用  
有機半導体インクの開発」

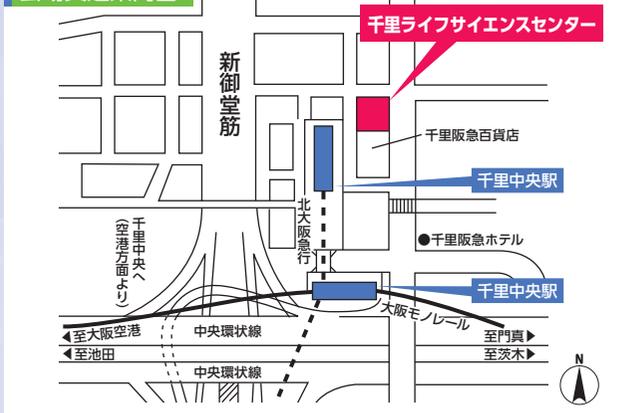
(独)産業技術総合研究所 ユビキタスエネルギー研究部門

ナノ機能合成グループ 物部 浩達

17:00 閉会挨拶

17:20 技術交流会

会場交通案内図



日時 平成27年3月16日(月)

講演会 10:00~17:05

展示会 13:00~16:30

会場 千里ライフサイエンスセンター

(大阪府豊中市新千里東町1-4-2)

5F 山村雄一記念ライフホール (講演会)

6F 千里ルーム (展示会・技術交流会)

主催 (独)産業技術総合研究所 関西センター

産業技術連携推進会議 近畿地域部会 ナノテクノロジー分科会

後援 近畿経済産業局、(一社)近畿化学協会、

(公社)日本化学会近畿支部、(公社)高分子学会関西支部、

(公社)応用物理学会関西支部、

プリントド・エレクトロニクス研究会

参加費 無料。技術交流会は会費制 (3,000円/人)

定員 展示会入場自由。講演会は200名 (定員に達し次第締切)

お申し込み方法

講演会・技術交流会参加について電子メールにて受付いたします。  
件名 (Subject) を“次世代ナノテクフォーラム参加”として、下記  
事項を記載の上、事務局 (kansai-nano-ml@aist.go.jp) までお知  
らせ願います。

①会社名または機関名 ②ご所属 ③ご氏名 ④電話番号

⑤メールアドレス ⑥技術交流会参加の有無

※ご提供いただいた個人情報は当フォーラム開催のためにのみ使用される  
ものであり、第三者への開示はいたしません。個人情報は「独立行政法人  
産業技術総合研究所個人情報保護規程」に基づき、適正な管理を行って  
おります

お問い合わせ先

次世代ナノテクフォーラム2015事務局

(独)産業技術総合研究所 関西産学官連携センター内

TEL 072-751-9606 E-mail: kansai-nano-ml@aist.go.jp

# 次世代 ナノテクフォーラム 2015

新産業を創出するソフトマテリアル技術

日時

平成27年 3月16日(月)

講演会 10:00~17:05

展示会 13:00~16:30

会場

千里ライフサイエンスセンター

(大阪府豊中市新千里東町1-4-2)

5F 山村雄一記念ライフホール (講演会)

6F 千里ルーム (展示会・技術交流会)



独立行政法人  
産業技術総合研究所 関西センター

産業技術連携推進会議近畿地域部会ナノテクノロジー分科会

# 次世代ナノテクフォーラム2015

## 新産業を創出するソフトマテリアル技術

独立行政法人産業技術総合研究所は、第3期中期計画のもと活動してきましたが、第3期は今年度で終了し、来年度からは新たな中長期計画のもとで研究活動を実施します。この計画の一つの柱となるのが、技術シーズを製品化や事業化までつなげていく橋渡し機能の強化です。橋渡し機能の強化により新たなイノベーションを創出し、経済活性化によって日本社会に貢献することが産総研のミッションのひとつです。

また、近年、地方の産業の疲弊が指摘されていますが、これを克服するためには、地域経済の活性化による地方創生が必要です。これには、地域センターを核とした公設研究機関や大学との連携が重要であり、これらを通じて、地域産業の課題解決に取り組みたいと考えています。

産総研関西センターでは、グリーン・イノベーションを担うエレクトロニクス技術、ライフ・イノベーションを担う健康工学技術、生活セキュリティを担う情報技術を重点領域として、研究開発や連携活動を展開してきました。その中で、近畿圏で特に目立った活動が行われているナノテクノロジーの分野でも貢献すべく、活動の一環として、産業技術連携推進会議（産技連）近畿地域部会ナノテクノロジー分科会、技術開発連携体制の構築を目指した活動を行ってきました。本フォーラムはその一環でもあります。

昨年と同様に、本フォーラムは、講演会とブース展示の二本立てで実施いたします。講演会では、「新産業を創出するソフトマテリアル技術」について、基調講演や招待講演の先生方から最新の技術動向をご紹介いただくとともに、分科会参画公設試験研究機関から技術シーズの紹介をいたします。ブース展示では、公設試の技術シーズなどを展示いたします。

ナノテクノロジーの多様な形での地域産業技術への導入を図り、新たな産業技術、新たな製品群を創出するための有効な手段として、また産学官連携をより機動的、実質的に推進するための皆様との交流の場として、本フォーラムを生かしていただければ幸いです。産技連活動を通して各公設試のさらなる技術力向上と連携ネットワークに基づく支援力強化を実現し、より質の高い技術的支援体制の構築を目指します。

産総研関西センターは、産技連近畿地域部会や近畿経済産業局と連携して、地域産業に貢献すべく努力をいたす所存です。今後とも、ご助言、ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

独立行政法人 産業技術総合研究所 関西センター 所長  
産業技術連携推進会議 近畿地域部会 会長

長谷川 裕夫

ナノテクノロジー（nanotechnology）は、ナノサイズの領域において物質を制御する技術であり、物質をナノサイズの大きさにすることで特殊な現象が発現することを利用して産業応用への発展が期待され、現に様々な研究分野の融合により発展しています。近畿地域では産業技術総合研究所関西センターを中心に平成20年度から2府6県の公設研究機関と共同でナノテクノロジー分科会の活動を通じて、ナノテクノロジー分野でのネットワークの構築を推進しています。その活動の一環として本次世代ナノテクフォーラムでは、「界面」を一つのキーワードとして各機関のナノテクノロジーに関する研究成果や取り組みについて発表・展示をいたします。この発表・展示を契機に分野の異なる研究者・技術者との意見交換がナノテクノロジーによる新たな発展となり、関西地域の産業の活性化につながっていくことを期待しています。

和歌山県工業技術センター 企画総務部技術企画課 主任研究員  
産業技術連携推進会議 近畿地域部会 ナノテクノロジー分科会 会長

中本 知伸

## PROGRAM

### 次世代ナノテクフォーラム2015 産技連近畿地域部会ナノテク分科会参画研究所展示会・技術交流会 6F 千里ルーム

#### 13:00 展示会・技術交流会

- 19:00
- ・滋賀県工業技術総合センター
  - ・滋賀県東北部工業技術センター
  - ・京都府中小企業技術センター
  - ・(地独)大阪府立産業技術総合研究所
  - ・兵庫県立工業技術センター
  - ・奈良県産業振興総合センター
  - ・和歌山県工業技術センター
  - ・(地独)京都市産業技術研究所
  - ・(地独)大阪市立工業研究所
  - ・(独)産業技術総合研究所 関西センター
  - ・産技連近畿地域部会 ナノテクノロジー分科会

## PROGRAM

### 次世代ナノテクフォーラム2015 講演会 5F 山村雄一記念ライブホール

#### 10:00 開会挨拶

(独)産業技術総合研究所 関西センター 所長  
産業技術連携推進会議 近畿地域部会 会長 長谷川 裕夫

#### 10:05 挨拶

大阪大学 産業科学研究所 産業科学ナノテクノロジーセンター  
関西ナノテクネットワーク 吉田 陽一氏

#### 10:15 分科会長挨拶及び活動報告

和歌山県工業技術センター 企画総務部技術企画課  
産業技術連携推進会議 近畿地域部会  
ナノテクノロジー分科会 会長 中本 知伸

#### 10:30 基調講演

「機能性表面構築のためのソフト界面精密構造・物性制御技術」

九州大学 先端物質化学研究所 所長 高原 淳氏

#### 11:30 研究講演

「水素結合を利用したアミドアミノオキシド型低分子ゲル化・増粘剤の開発」

(地独)大阪市立工業研究所 有機材料研究部 懸橋 理枝

#### 12:00 研究講演

「植物由来原料を活用した紫外線吸収性微粒子」

和歌山県工業技術センター 化学産業部合成技術グループ 森 一

#### 12:30 休憩